

朝日新聞科学部

創設 **50** 周年記念

シンポジウム

科学技術と 国家

2007年11月16日(金)

東京・有楽町朝日ホール

主催:朝日新聞社



参加者プロフィール



立花隆 (たちばな・たかし)

評論家・ジャーナリスト、東京大大学院情報学環特任教授。1964年、東京大仏文科卒。文藝春秋社を経てフリーライターとして活動。「田中角栄研究」「日本共産党の研究」などのノンフィクションのほか、「宇宙からの帰還」「脳死」「精神と物質」「電脳進化論」など科学技術関係の著書も多い。自然科学研究機構の経営協議会などの委員も務める。1940年生まれ。



黒川清 (くろかわ・きよし)

内閣特別顧問、政策研究大学院大教授、東京大名誉教授。専門は内科学。1962年、東京大医学部卒。米カリフォルニア大ロサンゼルス校(UCLA)医学部教授、東京大医学部教授、東海大医学部長、日本学術会議会長などを歴任。06年10月から内閣特別顧問として国の長期戦略指針「イノベーション25」、「新健康フロンティア戦略」などの策定に携わる。主な著書に「大学病院革命」「世界級キャリアの作り方」など。1936年生まれ。



柘植綾夫 (つげ・あやお)

三菱重工業特別顧問、前総合科学技術会議議員。1969年、東京大大学院工学系研究科修了。三菱重工業入社後、原子力研究推進室長、同高砂研究所長、技術本部長、常務取締役などを経て、07年1月から現職。05年1月から2年間、内閣府の総合科学技術会議議員を務めた。05年から日本学術会議会員。著書に「イノベーター日本」。1943年生まれ。

1957年は、「南極の昭和基地開設」(1月29日)や「茨城県東海村で「原子の火」ともる」(8月27日)、「ソ連のスポーツニク1号打ち上げ」(10月4日)と、超弩級の科学ニュースが相次ぎました。こうした時代を背景に、朝日新聞は科学部を発足させ、科学報道の重要性を社内外に宣言しました。

それから半世紀、科学と技術は私たちの暮らしにますます入り込み、生殖医療やIT(情報技術)、なかでもインターネットやケータイの進歩は、家族を含む人間関係や社会のありようまでも大きく変えてきています。また、政府は科学技術創造立国を目標に掲げ、科学技術の経済的効果にも期待は高まる一方です。

それでは、この21世紀に、日本はどんな発想に基づき、どんな科学技術を、どんな手法で伸ばしていけばいいのでしょうか。立花隆さんの講演やパネル討論を通して、未来を見据えながら、国家の役割を軸として多様な視点から考えます。

朝日新聞科学エディター 高橋真理子



後藤晃 (ごとう・あきら)

公正取引委員会委員、東京大名誉教授。1968年、一橋大経済学部卒。成蹊大教授、一橋大教授、東京大先端経済工学研究センター教授、同先端科学技術研究センター教授などを経て07年2月から現職。科学技術政策研究所総括主任研究官も併任した。主な著書、共著に「日本の技術革新と産業組織」「イノベーションと日本経済」「サイエンス型産業」など。1945年生まれ。



猪口邦子 (いのぐち・くにこ)

衆議院議員。1975年、上智大外国語学部卒。エール大で政治学を修め、上智大教授、軍縮会議日本政府代表部特命全権大使などを歴任。国際政治、軍縮の専門家、特命全権大使在任中に軍縮会議の議長も務めた。05年9月に自民党から初当選し、翌10月から06年9月まで少子化・男女共同参画担当大臣。05年から日本学術会議会員。主な著書に「戦争と平和」「戦略的平和思考」など。1952年生まれ。



尾関章 (おぜき・あきら) : コーディネーター

朝日新聞論説委員。1977年、早稲田大大学院理工学研究科修士課程修了。朝日新聞科学部記者、ヨーロッパ総局員、サイアス副編集長、大阪本社科学医療部長、東京本社科学医療部長、東京本社編集局長補佐などを経て現職。著書に「量子論の宿題は解けるか」。1951年生まれ。

プログラム

14:00	主催者開会あいさつ 船橋洋一 (朝日新聞主筆)	15:45	休憩
14:10	基調講演 「科学技術創造立国の前門の虎、後門の狼」 立花隆 (評論家)	16:00	討論・質疑応答
15:00	討論 パネリスト 立花隆 黒川清 (内閣特別顧問)	17:00	終了

* 会場内では携帯電話の電源をお切りください。撮影や録音はかたくお断りします。
* 再入場の際には、このプログラムを拝見させていただきます。休憩などで外出される場合は、必ずプログラムをお持ちください。

戦後の科学のあゆみと朝日新聞

赤字は朝日新聞の出来事

- | | | | |
|----------|--|----------|-----------------------------------|
| 1945年 8月 | 広島、長崎に原爆投下 | 1981年 4月 | スペースシャトル初の打ち上げに成功 |
| 1949年11月 | 湯川秀樹氏にノーベル物理学賞 | 10月 | 福井謙一氏にノーベル化学賞 |
| 1952年11月 | 米国が人類初の水爆実験 | 1983年 3月 | 東北大で日本初の体外受精児が誕生 |
| 1953年 1月 | 朝日新聞に常設の科学面ができる | 8月 | 朝日新聞大阪本社に科学部開設 |
| 2月 | 日本で地上波テレビ放送開始 | 1984年 5月 | NHKが衛星放送の試験放送を開始 |
| 4月 | DNAの二重らせん構造を発見 | 1985年 4月 | 核融合実験装置JT60が運転開始 |
| 1954年 3月 | 米国がビキニ環礁で水爆実験。
第五福竜丸が被ばく | 1986年 4月 | チェルノブイリ原発事故 |
| 3月 | 54年度予算案に初の原子炉予算2億3500万円
が計上される | 4月 | 高温超伝導物質が発見される |
| 1955年 3月 | 朝日新聞社会面に「北極と南極」連載開始 | 1987年 2月 | 超新星からのニュートリノをカムイオカンデで検出 |
| 4月 | 東大がベンシルロケット発射実験に成功 | 10月 | 利根川進氏にノーベル医学・生理学賞 |
| 9月 | 日本学術会議が初の南極探検隊派遣を決定。
朝日新聞社は「全機能をあげて後援」と社告 | 1988年11月 | 気候変動に関する政府間パネル(IPCC)が
第1回総会 |
| 12月 | 原子力基本法制定、翌月原子力委員会発足 | 1990年 3月 | 脳死臨調が発足 |
| 1956年11月 | 南極第一次観測隊が東京を出発、報道・
航空担当として朝日新聞記者が同行 | 12月 | 日本人で初めてTBSの秋山豊寛氏が宇宙飛行 |
| 1957年 5月 | 朝日新聞が東京本社に科学部創設 | 1991年 2月 | 美浜原発で蒸気発生器細管破断事故 |
| 8月 | 東海村の原子力研究所で初の臨界実験に成功。
「原子の火ともる」 | 8月 | インターネットでWWWが利用可能に |
| 10月 | ソ連、人類初の人工衛星スプートニク1号を
打ち上げ | 1992年 5月 | 気候変動枠組み条約を採択、地球サミット開催 |
| 1958年10月 | 米航空宇宙局(NASA)発足 | 9月 | 毛利衛氏がスペースシャトルで宇宙へ |
| 1959年 1月 | ソ連が月探査機を打ち上げ。
10月の3号機は初めて月の裏側を撮影 | 1994年 2月 | 純国産大型ロケットH2初号機打ち上げ成功 |
| 1961年 4月 | ソ連のガガーリン氏が人類初の宇宙飛行 | 1995年 1月 | 兵庫県南部地震 |
| 1964年10月 | 東京オリンピック、東海道新幹線開業 | 11月 | 科学技術基本法が施行 |
| 10月 | 中国がタクラマカン砂漠で初の核実験 | 12月 | 高速増殖原型炉もんじゅでナトリウム漏れ事故 |
| 1965年10月 | 朝永振一郎氏にノーベル物理学賞 | 1997年 2月 | クローン羊「ドリー」誕生。哺乳類では世界初
の体細胞クローン |
| 1968年 8月 | 札幌医大の和田寿郎教授が初の心臓移植手術
を実施。患者は83日後に死亡 | 10月 | 大型放射光施設スプリング8供用開始 |
| 1969年 7月 | アポロ11号月面着陸、人類月に立つ | 12月 | 京都議定書を採択 |
| 1970年 2月 | 日本初の人工衛星「おおすみ」打ち上げ | 1999年 1月 | ハワイに建設したすばる望遠鏡がファースト
ライト |
| 1973年10月 | 江崎玲於奈氏にノーベル物理学賞 | 9月 | 東海村のJCO核燃料加工施設で臨界事故 |
| 1974年 9月 | 原子力船むつが青森沖で出力上昇試験中に
放射線漏れ | 2000年10月 | 白川英樹氏にノーベル化学賞 |
| 1975年 2月 | 遺伝子組み換え実験に関するアシロマ会議が
開催 | 2001年 1月 | 総合科学技術会議が発足 |
| 1977年 7月 | 静止気象衛星「ひまわり」の初代が米国で打ち
上げ | 10月 | 野依良治氏にノーベル化学賞 |
| 1978年 5月 | 大規模地震対策特別措置法が成立 | 2002年 4月 | 夕刊に「ウィークエンド科学」3面がスタート。
05年3月まで |
| 7月 | 英国で人類初の体外受精児(試験管ベビー)が
誕生 | 4月 | 「地球シミュレータ」がスパコン性能世界一に
認定 |
| 1979年 3月 | スリーマイル島原発事故 | 10月 | 小柴昌俊氏にノーベル物理学賞、
田中耕一氏にノーベル化学賞 |
| | | 2003年 4月 | ヒトゲノム解読終了宣言 |
| | | 2004年 1月 | 朝日新聞南極支局開設。45次越冬隊に記者
2人が同行 |
| | | 2005年 4月 | 日曜の別刷り「緑のbe」スタート |
| | | 2007年 7月 | 新潟県中越沖地震で柏崎刈羽原発に激しい
揺れ |